# 壇の岡

７月１２日（金）　第５７号
発行責任者
鮫川中学校長　角田敏文

## 教育目標

学ぶ心
よく学び自己を高める生徒

美しい心
心豊かで思いやりがある生徒

強い心
心身を鍛えたくましい生徒

こちらから各学年だより等がスマートフォンからもご覧できます。

## 脳のくせ

叱ると褒めるを比べると、叱るほうが脳に約三倍残りやすいからです。ただし、副作用も大きいです。ネガティブな管理するうえで（叱る相手を）壊さないことは大前提で、副作用を最低限に抑えることが優先されるため、バランスをとることが大切です。

褒め方にもこつがあります。

たら褒めることが大切です。

**まず褒めるのは素質・結果・成果ではなく、その行動・努力を褒めることです。**素質を褒めると、そのものが要求されるレベルが上がるにつれ、失敗しても難しい問題に挑戦し続けることができます。つまり、**結果や成績につながる行動を見つけ出して褒めることが重要なのです。**

また、一回だけ褒めるのは素質に努力を褒めるのは避ける傾向が出てきます。チャレンジしたことを褒めると、最初は褒めるが、立て続けに褒める必要があります。大きく褒めるより、小さくこまめに褒める方がより効果的です。最初は褒めなかったりすることで、褒めなくなり、次に頑張れるようにセロトニン（幸せホルモン）の活動が高まり、やらせずにいられなくなります。

仕事が変わる5つの脳グセ：篠原菊紀

## 一学期を終えるにあたって ～学習編～

新学期が始まり３ヶ月が過ぎた現在、各自の家庭学習の状況を調べてみました。

**休日の学習時間**

| | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 1時間以下 | 9.1% | 9.1% | 0.0% | 5.9% |
| 2時間くらい | 27.3% | 9.1% | 16.7% | 17.6% |
| 3時間くらい | 40.9% | 59.1% | 45.8% | 48.5% |
| 4時間以上 | 22.7% | 22.7% | 37.5% | 27.9% |

**平日の学習時間**

| | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 30分以下 | 9.1% | 9.1% | 0.0% | 5.9% |
| 1時間くらい | 36.4% | 40.9% | 41.7% | 39.7% |
| 2時間くらい | 36.4% | 40.9% | 50.0% | 42.6% |
| 3時間以上 | 18.2% | 9.1% | 8.3% | 11.8% |

普段の学習の足りない分を補うのが土日の学習ではないでしょうか。平日にしっかり学習していれば、これでよいのかもしれませんが、長２時間以内の人は特に心配になりませんが、入試当日に自信を持つことができるのです。

**お家の人と学校の出来事について話しをするか**

| | 1年 | 2年 | 3年 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 全くしない | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| あまりしない | 9.1% | 31.8% | 20.8% | 20.6% |
| どちらかといえばしている | 45.8% | 22.7% | 20.8% | 29.4% |
| よくしている | 45.8% | 45.5% | 58.3% | 50.0% |

毎日の家庭学習の目的を明確にし内容が充実してきて、テスト前には一日数十ページ行い、冊数がどんどん増えてきている子もいます。逆にプリントを貼るだけ、漢字だけ、何かにつけ、単語だけ、訳をして提出しない子。**個人差が大きくなってきました。**

家庭学習や勉強方法についても話していただきたいです。

**家族としっかり会話ができています。**

子供の様子を確認してください。

保護者皆様、高校受験、夢中になる将来の話題について、お子様の様子をみて、家族で会話をしてください。

## 週の行事予定

| 22 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 月 | 土 | 金 | 木 | 水 | 火 | 月 |
| **県中体連総合大会 ～7月24日(水)** | **夏期休業日 ～8月25日(日)** | 第一学期終業式<br>職員会議・部活動中止 | **1・2年実力テスト** | NO部活動デー | 防犯教室 | 海の日 |

## 大丈夫ですか！

歯の治療は済みましたか？**予防↓早期発見↓治療**が大切です。夏休みを有効に使い、必ず治療に行って下さい。

**「ひっぱたいてでも歯磨きの習慣をつけさせてほしかった」と入れ歯になった今、そう思う**